

# カリキュラム・ポリシー、「和泉の10の力」と科目ナンバリング対応表

CP カリキュラム・ポ リシー	和泉の10の力 (科目ナンバリング中区分)	和泉の10の力の定義	科目ナンバリングと授業科目名 <small>科目ナンバリングコード【例：I-1-1】①大区分（I～IV）：カリキュラム・ポリシー ②中区分（1～10）：和泉の10の力 ③小区分：小分類等</small>		
I 教養 <small>は、キリスト教の精神を踏まえて、人々の権利を護り共に生きる人としての価値観を養うための科目</small>	1. 人権の尊重 (教養基盤形成系)	建学の精神を基調として、高い倫理観を培う。子どもや利用者の人権を尊重し、より豊かな人生をささえることができる	I-1-1：キリスト教概論、I-1-2（兼II-5-2）：キリスト教保育、I-1-3：キリスト教倫理、I-1-4：日本国憲法		
	2. 礼節を重んじ良識ある行動ができる (キャリア基盤形成系)	保育・福祉の実践者としてふさわしい、挨拶、礼儀、マナー、言葉遣いを身につけ、信頼される人となる	I-2-1-1（兼I-3-1-1）：キャリアデザインI、I-2-1-2（兼I-3-1-2）：キャリアデザインII、I-2-2：体育理論・体育実技		
	3. 基礎学力 (キャリア形成と技術系)	文章表現力、読解力、数的推理を身につけ、健康・スケジュール管理に努めることができる	I-3-1-1（兼I-2-1-1）：キャリアデザインI、I-3-1-2（兼I-2-1-2）：キャリアデザインII、I-3-2-1：英語コミュニケーションI、I-3-2-2：英語コミュニケーションII、I-3-3-1：ハンドベルI、I-3-3-2：ハンドベルII、I-3-3-3：ハンドベルIII、I-3-3-4：ハンドベルIV、I-3-4：リトミック、I-3-5-1：パイプオルガン入門、I-3-5-2：パイプオルガン、I-3-6-1：造形遊びI、I-3-6-2：造形遊びII、I-3-7：手話		
II 原理 <small>は、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕を実践する人間観を養うことができる科目</small>	4. 多様性の尊重 (社会福祉学系)	さまざまな人々が共生する社会の実現に向け貢献できる	II-4-1：社会福祉、II-4-2：社会的養護の原理、II-4-3：子ども家庭福祉、II-4-4：障がい者福祉論、II-4-5：高齢者福祉論、II-4-6：教育政策と社会（児童の権利）		
	5. 社会貢献 (保育・教育学系)	思いやりの心で子どもや利用者に寄り添い、地域や社会の保育・福祉の発展に寄与できる人材として活躍できる	II-5-1：保育原理、II-5-2（兼I-2-2）：キリスト教保育、II-5-3：教育原理、II-5-4：保育者論		
III 知識・技能 <small>は、子どもと子どもを取り巻く環境を知り、様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につけることができる科目</small>	6. 保育・福祉の知識と技能 (保育・福祉の概論と指導法系 1.社会福祉 2.保育・教育 3.心理 )	保育・福祉に関するさまざまな知識と技能を習得する。	III-6-1-1：社会的養護の内容、III-6-1-2-1：特別支援保育I、III-6-1-2-2：特別支援保育II、III-6-1-3：障がい児・者支援の方法、III-6-1-4-1：乳児保育I、III-6-1-4-2：乳児保育II、III-6-1-5：子どもの保健、III-6-1-6：子どもの健康と安全、III-6-1-7-1：子どもの食と栄養I、III-6-1-7-2：子どもの食と栄養II、III-6-2-1①：保育内容「健康」、同②：保育内容「人間関係」、同③：保育内容「環境」、同④：保育内容「言葉」、同④：保育内容「表現」、III-6-2-2①：保育内容の総合的指導法「健康」、同②：保育内容の総合的指導法「人間関係」、同③：保育内容の総合的指導法「環境」、同④：保育内容の総合的指導法「言葉」、同⑤-1：保育内容の総合的指導法「造形表現」、同⑤-2：保育内容の総合的指導法「身体表現」、同⑤-3：保育内容の総合的指導法「音楽表現」、III-6-2-3：保育内容総論、III-6-2-4：教育・保育カリキュラム論、III-6-2-5：保育方法、III-6-2-6：幼児教育と情報機器、III-6-2-7：子どもと音楽、III-6-3-1：保育の心理学、III-6-3-2：子ども家庭支援の心理学、III-6-3-3：子ども理解と保育、III-6-3-4：教育・保育相談の理論と方法、III-6-3-5：子ども家庭支援論		
IV 実践力 <small>は、身につけた価値観・知識・技能を現場に即して実践し、共に成長する体験を積む中で学び直し、キャリア形成の基礎を培うことができる科目</small>	7. 自ら考える力	1.社会福祉の実践と省察 2.保育・教育の実践と省察	課題に対し、身につけた知識や技能をもとに、情報収集や判断・分析ができる。多角的な視点から主体的に考えることができる。	IV-7-1-1：保育実習指導I、IV-7-1-2：保育実習指導II、IV-7-2：教育実習指導（幼稚園）	課外活動  ・ボランティア活動 子育てひろば 「すまいいい」 及び 「はっぴい」  オレンジリボン活動  ・WILL-ともに語ろう- 等
	8. 自ら行動する力	1.社会福祉の実践と省察 2.保育・教育の実践と省察	各科目での学修の取組やボランティア活動等を通じて、保育・生活技術を身につけ、自らの考えに基づき主体的に行動することができる	IV-8・9・10-1-1：保育実習I（保育所）、IV-8・9・10-1-2：保育実習I（施設）、IV-8・9・10-1-3：保育実習II（保育所）（施設）、IV-8・9・10-2：教育実習（幼稚園）、IV-8・9・10-3：保育・教職実践演習（幼稚園）、  IV-10-4（兼IV-10-5）：インターナショナルフィールドワーク	
	9. 実践する力	1.社会福祉の実践と省察 2.保育・教育の実践と省察	授業、実習、ボランティア活動等で学んだことを生かし、保育・福祉の実践現場のニーズに合わせて保育内容を実践し、振り返ることができる		
	10. コミュニケーション力 (キャリア形成の技能修得と省察)		コミュニケーションスキルを身につけ、他者の気持ちに寄り添い、受容と共感をして支援することができる		